

一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2014年8月）議事録

日 時：2014年8月29日（金）午後5時30分～7時30分

場 所：八重洲倶楽部 第2・3会議室

議 長：下光輝一理事長

出席者：下光輝一， 碓井外幸， 小野寺昇， 勝村俊仁，
栗原 敏， 坂本静男， 定本朋子， 武政 徹，
竹森 重， 田中宏暁， 永富良一， 浜岡隆文，
福永哲夫， 山内秀樹， 吉岡利忠（各理事），
小林康孝， 能勢 博（各監事），
菅原正志（第69回大会長・長崎），
田島文博（第70回大会長・和歌山）

欠席者：荒尾 孝， 大野 誠， 川久保清， 川原 貴，
下村吉治， 鈴木政登， 田中喜代次， 田畑 泉，
鳥居 俊， 西平賀昭（各理事）

【審議事項】

1. オンライン会員名簿について（事務局）

事務局より今まで冊子体で作成していた会員名簿を，電子版（オンライン会員名簿）にした際のデモンストレーションが行われた。この方法を採用するか否かについては，将来構想検討委員会や広報委員会で引き続き検討を行っていくこととした。

2. 前回議事録の承認

理事会開催中に各自で議事要旨の内容確認を行い，訂正等がある場合は申し出ていただくこととし，理事会終了後に承認とすることとした。

3. 持ち回り理事会議決事項の確認について

1) 平成27年度予算／2014年7月10日開催（勝村財務委員長）

持ち回り審議を行った平成27年度予算について，特に異議なく承認されたことが報告された。本予算は2014年6月23日に開催した予算打合せ（出席者：下光輝理事長，小野寺総務委員長，勝村財務委員長，鈴木編集委員長）を元に前回理事会で提示した内容から更新を加えていることが説明された。変更点については，6月23日時点の会員数約4,700名の納入率85%で会費収入を計上していること（85万収入増），在庫分を保持しない（滞納していた会費を納めたとしても，滞納していた時に発行された学会誌は発送しないようにする）ことによる学会誌作成費の減額（220万費用減），海外交流準備金を例年通り100万円で計上すること（50万費用減），冊子体の会員名簿作成を廃止しオンライン会員名簿にすることによる費用削減（500万費用減），ロゴ作成費の新規計上（30万費用増）等により，最終的に約80万円の赤字予算となる旨，説明がなされた。

2) 男女共同参画学協会連絡会の規約改定／2014年7月10日開催（定本男女共同参画推進委員）

持ち回り審議を行った男女共同参画学協会連絡会の規約改定について，特に異議なく承認されたことが報告された。変更点としては紛らわしい文言の整理を行ったとの説明がなされた。

3) 平成27年度事業計画／2014年7月28日開催

（小野寺総務委員長）

持ち回り審議を行った平成27年度事業計画について，特に異議なく承認されたことが報告された。追加承認事項として，渉外委員会から関連国際学会及び国内学会との交流事業を追加することとし，学術委員会から日本体力医学会健康科学アドバイザーの商標登録査定手続きを追加することとした。

4) スポーツ庁設置の提言メンバーへの加入／2014年3月31日開催（下光理事長）

持ち回り審議を行ったスポーツ庁設置の提言メンバーへの加入について，特に異議なく承認されたことが報告された。各理事からの意見については，取り纏めをしている宮地元彦先生に全て渡している旨，報告がなされた。また，その他意見がある場合は，宮地元彦先生にお送りする旨，連絡がなされた。

4. 平成26年度庶務報告について（小野寺総務委員長）

2014年7月31日現在，会員総数4,715名，新入会員294名，退会者390名（内自然退会207名），購読数は160団体であるとの報告がなされた。また，2年以上会費未納者リストが提示され，2年以上会費未納者については第69回長崎大会を期限に自然退会とすることが承認された。

5. 平成26年度事業報告について（小野寺総務委員長）

資料に基づき，平成26年度事業報告について報告がなされ，承認された。

6. 平成26年度会計報告（決算）について

（勝村財務委員長）

収入の部 予算に比べて論文掲載料等収入が約60万円増収，雑収入が約30万円増収（第68回東京大会で使用予定の海外交流事業経費の未払計上差額），第68回東京大会の余剰金の寄付金246,617円があり，年度内収入は48,806,785円であった。

支出の部 予算に比べて事業費は約133万円削減し，管理費は予算より約62万円削減し，予備費30万円を使用しなかった結果，全体の支出が予算額より約225万円削減して，年度内支出としては53,302,895円であった。

以上により当年度収支としては約450万円の赤字となり，次年度繰越金は47,964,690円になったとの報告があった。本決算については公認会計士にチェックが行われている事が併せて報告があり，引き続き能勢監事より監査報告が行われ，平成26年度決算が承認された。

今後の検討課題として，会員のメリットについて，研修会の過去問集の販売促進，研修会・国際交流事業・プロジェクト研究についての在り方について，引き続き検討を行ってほしいと能勢監事より依頼がなされた。

7. 評議員推薦に関する件について

（吉岡評議員選考委員長）

評議員選考委員会において申請者20名に対しての資格審査を行い、その結果会員歴を満たしていない3名に対し、1名は業績が豊富であり評議員として推薦したいと提案があり計18名を評議員として認めた旨の報告があり、2014年度評議員候補者として18名(内、女性2名)を評議員会に推薦することが承認された。

8. 日本体力医学会健康科学アドバイザー継続申請者について(碓井称号委員長)

日本体力医学会健康科学アドバイザーの称号継続申請者25名の氏名リストが提示され、承認された(内、終身称号は7名)。

9. 第25回スポーツ医学研修会修了試験結果について(碓井称号委員長)

研修会を受講した参加者の内20名が8月3日に修了試験(試験問題50問)を受け、全員が合格した旨と試験の概要について報告がなされ、承認された。

10. ロゴマークについて(小野寺総務委員長)

別紙資料によりロゴマーク案2つが提示された。総務委員会で検討した結果、A案を進めたいと提案があり、承認された。第69回長崎大会で開催する評議員会および社員総会で発表後に、正式に学会HP等に掲載する旨、今後の予定が説明された。

11. 在庫管理について(小野寺総務委員長)

事務局である学会支援機構より、過去の資料(第1回研修会やその当時の理事会資料他)が10箱ほど学会支援機構負担で預かっている資料があると報告があった。本来学会に請求するはずの費用と判明したため(今までは請求していなかった)、今後も預ける場合は費用が掛かると説明があり、理事長はじめ関係役員で資料の内容を確認し、処分をしようか、貸し倉庫と契約して保管を続けるかの判断をすることとなった。

12. その他

1) 健康日本21推進全国連絡協議会について(下光理事長)

別紙資料により健康日本21推進全国連絡協議会への入会申請書が提示された。21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21)の推進を図ることを目的としている団体であり、会費は年間1万円であると説明がなされた。審議の結果、活動の趣旨に賛同し入会手続きを進めることとなった。

入会までの手続きについては総務委員会が担当し、入会後の担当は渉外委員会が行っていくこととなった。

2) 平成26年度日本スポーツ体育健康科学学術連合総会について(小野寺総務委員長)

平成26年度日本スポーツ体育健康科学学術連合(以下、学術連合)総会において、来年学術連合の大きなシンポジウムを開催する予定であり、本学会からもテーマを出してほしいと依頼があったとの報告がなされた。

3) 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針につ

いて(小野寺総務委員長)

現在厚生労働省のホームページに「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針について」のパブリックコメントを募集(メ切:2014年9月7日)しているとの報告があった。倫理指針の内容を確認した所「侵襲」と「介入」の点が会員の研究活動に支障が出る可能性があるため、本学会からパブリックコメントを出したいとの提案がなされ、承認された。期限が迫っているため、総務委員会・倫理委員会・利益相反委員会でコメント案を作成し、提出することとした。

【報告事項】

1. 各種委員会報告

1) 総務委員会(小野寺委員長)

今後の総務委員会の活動予定が以下の通り報告された。

- ・選挙管理規程の作成。
- ・特定資産取扱運用規程の作成。
- ・諸謝金規程の作成。

2) 学術委員会(碓井委員長)

- ・称号委員会(碓井委員長)

8月8日付で「日本体力医学会健康科学アドバイザー」の商標登録の登録査定が完了したと報告があり、手続き完了の為に諸手続きを進めていくとの報告がなされた。

- ・スポーツ医学研修会実行委員会(山内委員長)

本年の研修会は基礎コースを2014年7月11日12日に実施し参加者が29名、応用コースを8月1日2日で実施し参加者22名、修了試験を2014年8月3日に実施し受験者20名であったと報告がなされた。

3) 渉外委員会(永富委員長)

以下の点について報告がなされた。

- ・ACSMに3名の会員を派遣(学会ホームページに掲載済み)。
- ・ECSSのシンポジウムに宮地元彦先生を派遣。
- ・9月の長崎大会にてECSS-YIAの3名を招く予定。
- ・9月の長崎大会にてACSM-JSPFSM交流シンポジウムにACSMからMark Stoutenberg先生、日本医師会から太田玉紀先生・羽鳥裕先生を招聘。
- ・ECSSとの交流シンポジウムを学会ホームページで募集を行う予定。
- ・脳血管病予防に関する包括的リスク管理チャートの次回会議が、9月の長崎大会期間中に開催され本学会から出席ができないため、文書にて意見を述べる予定。

4) 広報委員会(武政委員長)

現在英文のホームページを検討中であり、無料の自動翻訳ツールを検討しているが、予算を使って良い翻訳を行いたいとの依頼がなされた。審議の結果、予算を使用することが認められ、引き続き検討をしていくこととなった。

2. 第69回(長崎)大会の進捗状況(菅原第69回大会長)

1) 演題登録状況

7月末で演題募集を締め切り、一般演題が804演題集まったと報告がなされた。

2) 事前参加状況

事前参加登録は802名と報告がなされた。

3) 会期・会場

会期：平成26年9月19日(金)～21日(日)

会場：長崎大学文教キャンパス

3. 第70回大会（和歌山）の準備状況

(田島第70回大会長)

配布資料により、大会の準備状況等について報告がなされた。

大会長：田島文博（和歌山県立医科大学教授）

副大会長：本山 貢（和歌山大学教授）

会 期：2015年9月18日(金)～20日(日)

会 場：和歌山県民文化会館、

ホテルアバローム紀の国

テ ー マ：げん紀の国 和歌山

～オリンピック・パラリンピアンスポーツ
医学と健康増進体力医学の融合～

運営事務局：株式会社セレスポ事業本部

4. 第71回大会（岩手）の準備状況について
(小野寺総務委員長)

配布資料により、大会の準備状況等について報告がなされた。

大会長：立身政信（岩手大学）

副大会長：山崎省一（石巻専修大学）

副大会長：永富良一（東北大学）

会 期：2016年9月23日(金)～25日(日)

会 場：アイーナ、マリオス

テ ー マ：東北の再生と復興をめざすスポーツ振興と
体力医学